

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【公開番号】特開2012-116172(P2012-116172A)

【公開日】平成24年6月21日(2012.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2012-024

【出願番号】特願2010-270784(P2010-270784)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2014.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 A

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

C 0 9 D 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月3日(2013.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

中間転写体に、インク中のアニオン性成分を凝集させる凝集剤を含有する凝集液を付与する凝集液付与工程と、アニオン性成分を含有するインクを、該凝集液が付与された中間転写体の画像形成面にインクジェット記録方法で付与することにより中間画像を形成する中間画像形成工程と、該中間画像が形成された該画像形成面に記録媒体を圧着して該中間画像を該画像形成面から該記録媒体へ転写する転写工程とを有する転写型インクジェット記録方法であって、

該凝集液は、アミノ基を有する多糖類又はその塩を含有する高分子化合物を含有することを特徴とする転写型インクジェット記録方法。

【請求項2】

前記アミノ基を有する多糖類又はその塩を含有する高分子化合物の重量平均分子量が、30,000以上、10,000,000以下である請求項1に記載の転写型インクジェット記録方法。

【請求項3】

前記アミノ基を有する多糖類又はその塩を含有する高分子化合物のアミン価が、0.3mmol/g以上、14.0mmol/g以下である請求項1または2に記載の転写型インクジェット記録方法。

【請求項4】

前記アミノ基を有する多糖類又はその塩が、アミノ基を有するカチオン化剤によってカチオン化された多糖類もしくは多糖類塩である請求項1～3のいずれか1項に記載の転写型インクジェット記録方法。

【請求項5】

前記アミノ基を有する多糖類又はその塩が、アミノ基を有するセルロース誘導体、アミノ基を有するグアーガム誘導体、キトサン及びそれらの塩から選択される少なくとも1種

である請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の転写型インクジェット記録方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題は、以下の本発明によって解決される。即ち本発明は、中間転写体に、インク中のアニオン性成分を凝集させる凝集剤を含有する凝集液を付与する凝集液付与工程と、アニオン性成分を含有するインクを、該凝集液が付与された中間転写体の画像形成面にインクジェット記録方法で付与することにより中間画像を形成する中間画像形成工程と、該中間画像が形成された該画像形成面に記録媒体を圧着して該中間画像を該画像形成面から該記録媒体へ転写する転写工程とを有する転写型インクジェット記録方法であって、該凝集液は、アミノ基を有する多糖類又はその塩を含有する高分子化合物を含有することを特徴とする転写型インクジェット記録方法である。